

## 【港北区】令和元年第 2 回区づくり推進横浜市議員会議 議事録

開催日時	令和元年 6 月 3 日 10 時 45 分 ～ 11 時 35 分
場 所	港北区役所 4 階 特別会議室
出席者	<p>【出席議員：8 名】佐藤祐文議員（座長）、福地茂議員、 大山しょうじ議員、酒井誠議員、 白井正子議員、望月康弘議員、 大野トモイ議員、豊田有希議員</p> <p>【港北区：29 名】栗田区長、高嶋副区長、 高野福祉保健センター長、 武井福祉保健センター担当部長、 中田土木事務所長</p> <p style="text-align: right;">ほか関係職員</p>
議 題	<p>1 令和元年度個性ある区づくり推進費の執行状況について</p> <p>2 その他</p>
発言の 要 旨	<p>1 令和元年度個性ある区づくり推進費の執行状況について</p> <p>2 その他 (資料説明：区長、副区長)</p> <p>豊田議員： 港北区は子供の数が多い。最近、悲しい事故等が続いており、区だけでできるわけではないと思うが、当初設定以上に、できる限り安全対策を進めていっていただきたい。具体的にそういった取組をどのように考えているか。</p> <p>中田土木事務所長： 道路局の方ですすでに記者発表しているが、車止め等の安全施設の調査を進めていて、256 か所について市内で調査を行っている。事故の発生の視点から過去 3 年間で事故の多かったところ、駅の出入口から近いところ等歩行者の多く通る場所を限定して、まずは調査をして、今月中に、必要なところについては順次県警の方と立会していく。また、これから夏にかけてスクールゾーンもあり、あるいは保育園の方も今、こども青少年局の方から通知もあり対応しているので、地域のみなさんの声を聴きながら、そのほかの地点も検討していく。</p>

豊田議員：

予算等あるが、これに関しては現状の世情を見るとさらに一段と対策が必要なので、できるかぎりしっかりと対策をしていってほしい。

次に、熱中症対策を区としてどう考えられているのか。港北区の中で、ミストの設置等であったり、木陰の設置等そのような対策を今年度打とうとしているようなことがあるか。

栗田区長：

先生の言われたとおり、水道局と連携してミストを新横浜に設置する、ラグビーワールドカップで大勢の方が集まるということで、まず新横浜は重点的に対策を行っていく。その他の熱中症対策については、炎天下や冷房のない室内でのイベントを中止にするなど、ソフト的な手立は昨年度に引き続き、今年度もしっかりと行う。環境省から湿度や温度の基準が来ているので、それを各施設管理者にしっかりと測ってもらっている。また、港北区は公共施設が比較的早く整備されたため、スポーツセンターや綱島地区センターの体育室には空調がないので、本格的な空調設置を急ぐとともに、その間つなぎとして暫定の冷風機をつけ、使用している。もう今月に入ってから暑くなっているので、地域の方にも熱中症対策ということで十分周知はしている。イベントを早めに切り上げたというような報告も既にきている。

豊田議員：

ちょうどワールドカップ等のタイミングでもあり、せっかくの流れなので、より安全にミストや木陰など、港北区が先導して進めていただきたい。

最後に、受動喫煙防止対策法がまさに施行されるというタイミングだが、区役所をはじめ様々な公共施設を持つ港北区では、ここの対策に関してどのように進めているのか。

小野地域振興課長：

各施設について昨年度中に調査し、喫煙がどういう状況で行われているか、灰皿はどこに置かれているかというようなことも含めて確認しているので、その旨施設と調整していきながら、利用者にも負担がないような形で進めていきたい。今はまだ調査を終えた状況なので、具体的な施策が横浜市全体で出たら、それに沿っていきたいと考えている。

豊田議員：

大きな混乱がないように進めてほしいが、港北区の職員が吸っているというようなことはあんまりよろしくない。ワールドカップまでにやるというのが、もともと目的でできた法律ということなので、しっかりと対策してほしい。

白井議員：

樽町ケアプラザの用地の説明をいただいたが、もう少し詳しくお話を伺いたい。今、樽町の方にあるケアプラザを、今度は2か所のスペースをお借りして、離れているが、それをひとつの分室として運営するということなのか。その対象地域を図で示していただいているが、これは新たな分室の担当範囲を表している

のか。そして職員配置は、今の分室より増えるのか。その3点を具体的に教えていただきたい。

武井福祉保健センター担当部長：

本来であれば1か所で探したが、なかなか綱島では難しい状況があり、2か所に分けて開設という予定にしている。福島ビルも大谷ビルも区の方で賃借し、それを法人さんの方で運営していただくというように予定している。役割としては福島ビルの新しい方でケアプラとしての事務室や相談の関係、それから大谷ビルの方では、事業実施スペースとして、いろいろあり得るが、地域の活動や会合等、それからケアプラとして行う例えば地域ケア会議、そういったようなもので活用していくという予定にしている。

エリアは、図面では特に綱島地区を強調しているが、新しい分室の対象エリアは綱島だけということではなく、樽町ケアプラザの全域を対象としている。

職員配置は、今のプラザの配置に加え、新しく生活支援コーディネーターが1名、サブコーディネーターという非常勤の主に事務をやっていただく職員が1名、こちらの分室の方に配置され、すでに雇用も終わり今研修を受けていただいている状況となっている。それに加え、従来の地域包括支援センターの専門職ももちろん配置されている。

白井議員：

区提案反映制度の一覧を配っていただいたが、この中で3番「綱島地区への図書館機能の導入」については、提案をしていただいたが、なかなか難しいという回答だったとある。これは今区民文化センターの設置される再開発ビルではなくて、二つ目の再開発ビルの中に、再開発に合わせた施設と連携した図書取次サービスなどの機能を検討していただきたい、整備していただきたい、という要望なのか、中身を確認をしたい。

山本区政推進課長：

綱島東口周辺一帯で新綱島の再開発、その次に東口駅前再開発と、いろいろな対策が行われており、広くそのエリアの中で検討していけないかということでの提案で、場所を限定してでの提案とは考えていない。

白井議員：

教育委員会としては難しいと言われたというのは、どのような状況だったのか、教育委員会の考え方を教えてほしい。

山本区政推進課長：

港北としてはもちろん、人口が多いなかで図書機能を充実させたいという提案だが、大きくは、図書館自体が一区一館という考え方が基本であるということと、図書の取次というサービスについても、考え方の整理が必要だということがあるので、まだ答えとしてはいただいていない。

白井議員：

地域の方から、この区画整理について市民要望がしっかり反映されたものになるようになってほしいという意見を聞いている。今の一区一館だけのあり方では

市民サービスに出来るものになってない。一区一館というのは、港北の実態には合っていないと思うので、今年度無理と言われていても、しっかりと引き続き区として市に対して、上げ続けていただきたい。

大山議員：

ケアプラの分室の話だが、福島ビルが分室で、大谷ビルが分室の分室みたいな整理になっていて、本来受け皿が難しいのでこういう結果になったということは了とするが、その辺の判断というのは、いつ行ったのか。

武井福祉保健センター担当部長：

30年度末までいろいろ物件をさがしていたが、やはりモデル事業で行うということもあり、あまり開設が遅れてしまうと区民サービスの面も含めてよろしくないということで、当面という言い方をさせていただいている。新しく確保できそうな福島ビルに加えて、既存の大谷ビルも活用させていただくという方向で、30年度末頃に内部的には判断させていただき、局とも調整して、契約なども順次済ませている。これから内装の工事なども入らないといけないので、そのあとのタイミングで7月の早い時期までには開設に漕ぎつけたいということで、今、準備している。

大山議員：

分室の部分と樽町ケアプラザ本体の、人の分け方について、相談は両方で行うと思うが、基本は同じ機能を持つということか。この件は樽町に行ってもらわないといけないとかそういうことは起こらないのか。責任者は樽町の所長が兼ねるのか。分室長というのがこの中から出るのか。

武井福祉保健センター担当部長：

機能的な部分は、今の大谷ビルもそうだが、相談については、平日の9時から5時というように予定しており、例えば土日に行きたいとか、そういった方については樽町の方をご案内するという予定にしている。それからやはり残念ながら面積なども本体に比べると広くないというのがあるので、例えば活動などでも、分室では厳しいという場合には樽町をご案内ということもある。責任者については今の樽町の所長が兼務という形になる。

大山議員：

児童交通安全対策に関して、先ほど子ども青少年局の方を通じて、保育所の方の要望を吸い上げているという話があったが、保育所もなかなか忙しい中、どう保育所の安全の部分について声を吸い上げていくか、把握していくのかについて、詳しく聞かせていただきたい。

廣瀬学校連携・こども担当課長：

こども青少年局から現時点では、危険個所の報告を求めているというようなことはないが、日頃の散歩コースなどを確認して、ここは危ないというようなことを確認しておいてくださいという安全点検に関する通知がきている。その上で、職員間で改めてここは危ないというのを園内で共通認識を持ってくださいという通知があった。

大山議員：

その通知をください。通知は区から配っているのか。

廣瀬学校連携・こども担当課長：

はい。保育園ならびに認可外園、すべてについて通知を出させていただいている。

大山議員：

最後に、高齢者の免許返納促進について、これは商店街と連携して、返納した高齢者の方に経歴書を提示したら特典があるものようだが、取組の意図についてももう少し、あと特典というのはどんな特典かというのを、もしアピールできるものがあるなら教えてほしい。

小野地域振興課長：

高齢者免許返納の関係だが、全国にお店の割引等々が利用できるという制度などが警察の方であるが、なかなかそれが周知されておらず、身近で使えないということがある。身近な商店街でそういう制度があれば、少し気持ちが変わり免許返納の啓発にも寄与していただけるかもしれないということで、商店街の方と話し合いをしている。今、話を詰めている段階で、先生のおっしゃったとおり実施できたらと思っている。また老人会等々では、警察や交通安全協会と協力しながら、高齢者の方には周知をしてもらっているので、引き続き実施していきたい。

大山議員：

放置自転車の監視員の関係だが、悩ましいところがあって、ここに書いてあるように、放置自転車数が減少しているので監視員の配置を減らすというが、綱島など監視員の配置数を多くしたから、放置自転車数がしっかり減ってきたというのはあるかと思う。とはいえ選択と集中という中では、取組はどこが人手不足で、監視員の確保がかなり大変なのか、その辺を聞かせてほしい。

小野地域振興課長：

監視員も効果があり、従来地域の方も参加していただき、ボランティアでもやっていた経緯もあり、そこについては一定程度の効果を見ているが、実は、放置自転車対策で最終的に一番効果があったのは撤去なので、撤去を強化していきたい。特に、土日をとということで、土日はずっと区の職員が行ってきたが、道路局と調整して、道路局でモデル事業として実施していただいている。そういうところも強化し、各駅の自転車等放置防止推進委員会などで、地域のみなさんと話し合いながら、マナーも含め、放置自転車の対策を進めていきたい。昨年度10駅の委員会のみなさんに集まっていた。こういった対策をしていくかということ共有していただき、効果的にやっていきたいと思っている。

備 考